

「第2回緑のまちづくりワークショップ」を開催しました

～緑の取組と今後の課題を提案しよう～

緑のまちづくりワークショップは、現在検討中の富田林市緑の基本計画について、市民の皆様のご意見などを参考としていくため、平成30年9月24日（月）に2回目のワークショップを実施したものです。当日は9名の方に参加していただくとともに、大阪府立大学の藤原教授に講演をお願いしました。

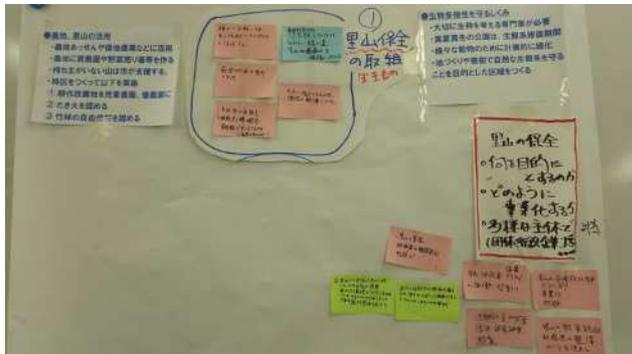
緑のまちづくりワークショップでは、「里山保全の取組」「緑の計画の取組」「市民参加の取組」をテーマに3つの班に分かれ、それぞれの取組に対する提案などをいただき、全員で意見を共有しました。



項目	ワークショップでのご意見・ご提案
里山保全の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■里山の整備、活用 <ul style="list-style-type: none"> ・里山の散策路及びその周辺地を整備し、ルートを決める ・里山の生産物の活用 ■里山活動の拠点形成 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、調査研究、教育ができる活動拠点が必要 ■里山の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・里山の権利者にとって管理が難しい ・市民、地権者、企業、行政がそれぞれの役割のもとに協働で取り組む ・里山保全活動費の確保
緑の計画の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■民間と行政との協働による緑のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・市が全体構想をまとめ、市と企業が協力して問題等を解決し、実施後の問題点を確認、修正することを繰り返す ・市のイメージアップを図ったり、個人名・企業名の入ったプレート設置等により民間の参画を促し、資金を集める ・大阪府のパートナーシップ協定の富田林版をつくる ■緑のまちづくりへの支援、動機づけ <ul style="list-style-type: none"> ・自分達で公園を管理すれば公園を利用する人も増える ・雨水タンク設置への助成
市民参加の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■学校との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の課外活動に里山保全や生物多様性学習を取入れる ■町内会、地域コミュニティの活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・公園等の施設をきれいにする活動を町内会清掃活動に取り入れる ・緑のまちづくりを住民同士のコミュニケーションや交流の場に ■ボランティアの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・テスト的にランチ付里山保全活動などに取組んでみる ・ボランティアにメリットをつける（例：清掃後に地元企業の商品をPR。市内にある和菓子やランチ（弁当）の提供など） ■情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・集まった意見の中で採用されたものを公表し、市民の意識向上につなげる

緑のまちづくりワークショップの開催状況

里山保全の取組



緑の計画の取組



市民参加の取組



ワークショップ各班の結果発表



参加者の主な感想

- 年齢や立場の違う人の意見や考え方を聞くことができてよかった
- 今回集まって出た意見が緑の基本計画に反映されたら嬉しい
- ワークショップに参加し、緑に関心を持つ良い機会になったので、今度は緑を増やす行動を実際に行っていきたい

講師の主な感想

- 緑の取組は、企業、市民、NPO等がどのように関わるのかを考える必要がある
- 里山の保全団体の高齢化が進んでおり、若い世代をどのように呼び込むのが課題である
- 緑のボランティアに参加する楽しみが仲間を増やす重要なポイントである

緑のまちづくりワークショップの結果は緑の基本計画に活かします

- 参加者の皆様のご意見・ご提案を整理し、検討中の緑の基本計画に活用します